

学校再編に関する住民意見交換会 概要

- ・日時 平成29年9月2日（土）9時30分～11時10分
- ・場所 二宮福祉センター
- ・市出席者 内田教育長、豊田教育部長、中村総務部長、
総務課 岩瀬次長（総務課長）、菅谷補佐、
学校教育課 鈴木課長、村澤主幹、平井主幹、野口係長、
教育総務課 久我次長（教育総務課長）、川崎補佐、東間係長、沼
- ・一般参加者 16名
- ・他参加者 教育委員2名、審議会委員6名

【9:30開会】

- 川崎補佐 : 資料確認、開会
内田教育長 : あいさつ
久我次長 : 資料に沿って二宮小と緑ヶ丘小に関する学校再編案を説明（第1回と同じ）
第1回意見交換後の審議内容を追加説明
- ・黒戸など一部の地域から遠くなるが、そこまでして緑ヶ丘小を使用する理由があるのかという意見に対し、位置的には二宮小のほうが良いという意見があったが、校舎の新しさ、広さなどを考慮し緑ヶ丘小という判断をした。
 - ・西陵中校舎を利用してはという意見もあったが、緑ヶ丘小と建築年度は2年しか変わらず、小学校は小学校の仕様（ステップの高さ等）があるので、緑ヶ丘小を使用する方が効率的と考えている。
 - ・通学手段について、当初は全域が概ね4キロ程度には収まり、スクールバスはどうなのかと考えていたが、実際の通学路を聞かないと判断できないので、統合決定後に話を伺いながら細かく詰めていく。
 - ・統合の時期については、教員人事の関係などから1年とかでは無理で、2年3年かけて交流をしながら進めていくことになる。
 - ・富士見中付近に小学校を新設し、小中一貫を考えてはという意見があった。非常に興味深かったが、通学距離の問題はともかく、豊田小、西小を含めた4つの小学校が統合すると児童数が非常に多くなり、教育委員会が定めた適正規模を超えてしまうので、現実的には困難かと考えている。
 - ・具体的な内容については、統合決定後に、学校や保護者、地域の方などと協議を重ねて詰めていく。例えば学童クラブについても、運営事業者や保護者の意見を伺いながら協議していく。

【9:55質疑】

- 発言者1（緑ヶ丘） : 校名について、今までの歴史は配慮しなければならないが、今後も児童が減少し統合も考えられる中、どんどん校名が足されていくのはどうかと思う。地域にアンケートをとっていただきたい。
統合までの子どもたちの交流について、例えば部活を一緒にやるとか、具体的なことを伺いたい。
- 久我次長 : 二宮と緑ヶ丘は、児童数もあまり変わらず、歴史や地区名を考慮してこのような形で案を示した。審議会では校名や校歌までは決めず、地域、保護者、学校などで代表者会議のようなものを作って決めていく。アンケートについては提言としていただく。
- 村澤主幹 : 例えば新治小では、本納小に行って袖だこ作りをしたり、豊岡小で体育や音楽の授業を受けたり給食を一緒に食べたりして、現在は中学で非常に仲良くできているという報告を受けている。

- 発言者 2
(押日) : 二宮小は歴史もあり、地域も学校のイベントや運営に協力的で、素晴らしい学校である。人数的には少なくなり統合もやむを得ないと感じるが、多い年のデメリットも、少ないメリットもあると思うので、四角四面に捉えられるのは残念。もちろんいろいろな葛藤があった中での提案だと思うが、スクールバスも含め、子どもや地域の気持ちに最後まで寄り添って決めていただきたい。
- 久我次長 : 二宮小も緑ヶ丘小も、多いときは400～500人くらいいたが、いまでは少なくなっている。やはり一定の人数の中で切磋琢磨してほしいという考えなので、先送りせず速やかに決めていきたい。校歌1つ取っても簡単な問題ではなく、皆さんの協力をお願いしたいと考えている。また、スクールバスは前向きに考えていく。
- 鈴木課長 : 学力について、知識面では少ない人数による効果もあるが、2020年の大学入試改革でクローズアップされる思考力、表現力については、ある程度の人数が確保されないといけないと考えている。
クラス替えが必要かという意見もあるが、単学級だと子どもたちが自分で限界を見つけてしまうこともあり、クラス替えを機に新しい人間関係を作るとか、クラス間の競争力や教員の指導力向上という効果があると考えている。
- 発言者 3
(緑ヶ丘) : こんな重要なことなのに人数が少ないのは残念。広報が不足しているのではないか。いろいろな方法を考えていただきたい。
二宮地区6,300人のうち緑ヶ丘は50.1%で圧倒的に多い。他の小学校と違い、緑ヶ丘は道路も学校も全て住民のお金で造成され、市に寄付された。こういったことを踏まえ、統廃合はやむを得ないが、緑ヶ丘の住民の大多数は、二宮緑ヶ丘という校名は反対すると思う。十分な審査をお願いしたい。
- 中村総務部長 : 広報について、広報もばらや自治会回覧、学校や保育所などからの連絡などやっているが、なかなか見てもらえない状況。フェイスブックなど新しい手段も取っているので、ご了解いただきたい。
- 久我次長 : 校名は審議会では決めず、地域や保護者と議論していくので、ご意見として承る。
- 発言者 4
(緑ヶ丘) : 学校は子どもたちのためのものだと思うが、子どもたちの意見はどうやって聞いてくれるのか。
また、二宮から緑ヶ丘に来るのに坂が大変だと思うが、どう考えているか。
- 鈴木課長 : 今の段階で子どもたちに意見を聞くことは考えておらず、決まった段階で説明していこうと考えている。
- 久我次長 : 通学についてはスクールバスを検討し、いろいろな意見を聞きながら安全性を確保したい。そちらからもぜひ意見を発信していただきたい。
- 発言者 4
(緑ヶ丘) : 人数が少ないと、部活とかで寂しい面もあるが、礼儀正しいとか学力が高いとかもある。人数が多くていじめなどが出てくることに対し、どういう対応を考えているか。
- 鈴木課長 : 少ない人数によるメリットは否定しないが、子どもたちがこれから社会へ出ていくことを考え、多様な考え方に触れ、選択肢の多い中で学習する方が、思考力や表現力などの点でメリットが多いと考えている。
- 発言者 4
(緑ヶ丘) : それが小さい学校と大きい学校で違うというデータがあるのか。
- 鈴木課長 : 今後クローズアップされるものなので、今のところデータはない。先ほど部活の話もあったが、いろいろな学習の機会ということを総合的に考えてということ。
- 発言者 4
(緑ヶ丘) : 部活は中学から始まり、小学校はクラブ活動で大した重みはない。いま悪い状態ではないと思うが。
- 鈴木課長 : 小学校でも年間を通して陸上や球技などをやっている。
- 発言者 4
(緑ヶ丘) : 二宮も緑ヶ丘もちゃんとできていると思うし、人数が少なれば地域の人が手伝ったりしているし、そこがよく理解できない。
- 鈴木課長 : 人数がいないと、例えば球技でチーム編成ができないこともある。
- 発言者 4
(緑ヶ丘) : 何でそちらが優先になるのか。

- 豊田部長 : これから子どもたちが、変わっていく世の中を生き抜いていくために、私たちはどうしたらよいか考えている途中なので、ご理解ご協力をお願いしたい。
- 発言者 5
(押日) : 今の方に賛成で、少人数のメリットが示されないのは不公平。二宮小でやっているように、少人数でもグループ活動はできている。先生方の資質によるところが大きく、一人ひとりをしっかり見ることに力を入れていただきたい。
通学の現状として、6:55集合で8:10始業に間に合わないこともある。高学年の子や学校、地域のボランティアが励ましても、1年生が泣いてしまったりする。スクールバスは遠いところだけでなく、坂なども考慮し、実際に体験して考えていただきたい。
- 豊田部長 : 通学については、いろいろ意見を聞いて調査して決めていく。
- 発言者 6 : 長南の小学校統合では、体操服が決まるのが遅くて買いなおしたという話も聞いた。そういった情報は早めにお知らせしてほしい。
- 久我次長 : 保護者に余計な負担がかからないよう、早めに情報提供していく。どんどん意見を出していただきたい。
- 中山学校再編
審議会会長 : 真剣な意見がいろいろ出てうれしい。教育とは、人間として生きていく力を学ぶことだと考えている。本当にこの状態でいいのか、常に大人である私たちが考えなくてはならない。
ここよりもっと小さい学校もあるが、将来の日本を考えてどういう人数がいいのかということで、文科省が適正規模を出している。納得いかない人もいるだろうが、私は人数をもう少し増やした方がいいだろうと思う。審議会でもいろいろな意見があるが、このことを何年も延ばすわけにはいかず、一定の線で納得して進めるのが、学校再編のあり方だと思っている。
緑ヶ丘の坂の話が多く出ているが、緑ヶ丘の人は現在歩いているだろうし、長崎はもっと坂がある。体を鍛えるという良い面もあると考えてはどうか。子どもたちが喜ぶ解決ができるよう、審議会で最善の努力をしたい。
- 発言者 7
(緑ヶ丘) : 全体のスケジュールがわからないので、これからどういう進め方を考えているのか、山で言うといま何合目くらいなのか伺いたい。
参加人数が少ないことについて、今日は緑ヶ丘小も二宮小も奉仕作業なので影響があるのだと思う。その辺もこれからは考慮していただきたい。
- 久我次長 : 当初は意見交換会を8月上旬からと考えていたが、学校でのイベントなどを考えた結果この日になってしまった。統合を決定した後、通学、校名、校歌などについて、両方の学校や保護者、地域の代表などと準備委員会のようなものを作り協議をしていく。本市では初めての統廃合になり、PTAとの意見交換もぜひ行いたい。
- 発言者 7
(緑ヶ丘) : 統合の決定機関はどこになるのか。
- 久我次長 : どことどこをいつと決めるのは、市の教育委員会会議になる。
- 発言者 7
(緑ヶ丘) : さっき会長が言っていたことで、いま緑ヶ丘の子どもは坂を歩いていない。そういう誤った認識を持って審議されては困るので、バスが検討で終わらないようお願いしたい。
- 久我次長 : スクールバスの詳細は市教委で決めるので、統合の決定後、準備委員会などのなかで意見を吸い上げていく。
- 発言者 8
(緑ヶ丘) : 私も小さな学校を卒業したが、いま考えると大勢の中で勉強したほうが良かった。自分の経験から、大勢の中でもまれることは大切だと思う。野菜も始めはたくさん蒔いて間引きしなくちゃいけない(間引きはともかく)。社会に出て多様な人と付き合っていくことになるので、これが一番のメリットだろう。

【11:10開会】